

2024年度 共同制作オペラ『ラ・ボエーム』

2024年秋、
全国7都市で新たな
『ラ・ボエーム』上演

井上道義、“最愛”にして“最後”のオペラ！ 盟友・森山開次とともに描く、若き芸術家たちの躍動

2024年度・全国共同制作オペラでは、2024年に没後100年を迎えるジャコモ・プッチーニの傑作オペラ『ラ・ボエーム』（新制作）を2024年9月～11月に全国7都市で計8公演、上演いたします。



© Yuriko Takagi

【指揮】井上 道義 Michiyoshi Inoue

井上は、歳をとると本来の自分でなくなるような恐怖感に襲われます。「元気な、踊るような、名誉欲のない、生きている人より楽譜の中の作曲家と語り合うことを好む、夢想家の指揮者」である道義がどこか彼方へいってしまい、「【巨匠】とおだてられ、爺臭く動きも鈍く、希望は追憶に入れ替わり、ノスタルジーの中に生きる存在」になることを嫌います。指揮者とは水先案内人であり、天才たちが書き残した作品を、現実の荒ぶる水しぶきととらえ、時空を超え、コンサートホールというノアの箱舟を山の頂に接岸させる役目だと思っています。知性と愛とユーモアを駆使するには体力が必要です。2023年1月、自分の一生の哲学？を表現した「愛の実態は何か」を描くことが出来たのが、自作のオペラ『降福からの道』でした。嬉しいことに、良い結果と高評価を得ています。しかし、現実の近くにいる人でさえ、そこに描いた真実の愛の在り方を理解しない人が居て、絶望を感じることもあります。そんないつまでも青二才な道義の青春時代の憧れだったオペラ『ラ・ボエーム』を、坐骨神経痛や弱った腎臓のことを忘れ、素晴らしい演出家と歌手ともう一度火花を上げることが出来るなんて、こんな嬉しいこと……いえいえ、こんな辛いことはありません。頑張ります。

描くことが出来たのが、自作のオペラ『降福からの道』でした。嬉しいことに、良い結果と高評価を得ています。しかし、現実の近くにいる人でさえ、そこに描いた真実の愛の在り方を理解しない人が居て、絶望を感じることもあります。そんないつまでも青二才な道義の青春時代の憧れだったオペラ『ラ・ボエーム』を、坐骨神経痛や弱った腎臓のことを忘れ、素晴らしい演出家と歌手ともう一度火花を上げることが出来るなんて、こんな嬉しいこと……いえいえ、こんな辛いことはありません。頑張ります。



© Sadato Ishizuka

【演出・振付・美術・衣裳】森山 開次 Kaiji Moriyama

自由に芸術を志す若者達の集い住む屋根裏部屋に、私もしばらく居候させてもらう。若き詩人の甘美な言葉に揺られて、破天荒な画家の絵の具のしぶきとなり、人の理を洞察しては、哲学者と古書の束にうづくまる。そして、陽気な音楽家と共に踊りあかす日々を送るのだ。冬のパリ、貧しさ寒さに身を震わせながらも、暗い屋根裏部屋に灯された小さな愛。真っ赤な花のごとく燃えては、春を迎える前に朽ちる絶望。プッチーニの至極の音楽にのせて、彼らの歓びと苦悩の日常の風景を鮮明に描く。私は舞踊家として芸術家たちと戯れ、心情を身体から湧き出させたい。井上道義さんの最後で最愛のオペラ『ラ・ボエーム』に、私の芸術の灯火を捧げて取り組む。時を繋いだ芸術の夢を追いかけながら。

【公演情報】

[日時]9月29日(日) 14:00開演
[会場]名取市文化会館 大ホール
[料金] S席 11,000円 A席 8,500円 B席 6,500円
※シーパイン友の会会員 各券種¥500引、
U-30チケット各券種¥3,000引(要身分証明書)
[発売] 4月29日(月・祝) シーパイン友の会先行
5月18日(土) 一般発売
[主催] 公益財団法人名取市文化振興財団

【全国公演スケジュール】

9月21日(土)・9月23日(月・休) 東京芸術劇場コンサートホール
9月29日(日) 名取市文化会館大ホール
10月 6日(日) ロームシアター京都メインホール
10月12日(土) 兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール
10月19日(土) 熊本県立劇場演劇ホール
10月26日(土) 金沢歌劇座
11月 2日(土) ミューザ川崎シンフォニーホール

修繕と臨時休館のお知らせ

令和7年2月3日(月)～2月9日(日)

大・中ホールの修繕を予定しております。

令和7年2月10日(月)～2月25日(火)

修繕のため全館休館を予定しております。

当該期間中、ご予約及びご利用いただけません。ご利用の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

交通アクセス

・仙台空港アクセス線「杜せきのした駅」より徒歩8分

・JR「名取駅」より徒歩17分

※タクシーをご利用の場合はJR「名取駅」が便利です。

※駐車場の収容台数には、限りがございます。公共交通機関をご利用になるか、できる限り乗り合わせてご来館くださいますよう、みなさまのご協力をお願いいたします。



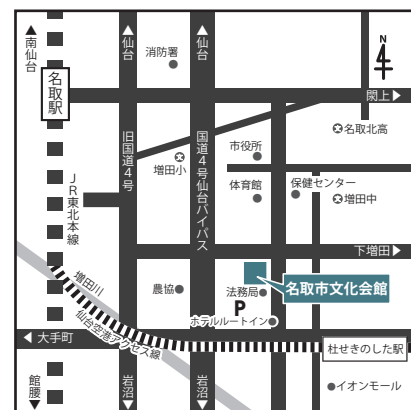
名取市文化会館

公益財団法人名取市文化振興財団

〒981-1224 名取市増田字柳田520
TEL 022-384-8900 FAX 022-384-6684
(第1・3火曜日を除く9:00～18:00)

ホームページ: <http://bunka.natori.or.jp/>

X(旧Twitter)/Facebook/YouTube ▶ 名取市文化会館



文化の森

ふんかのもり

vol.55
2024.4

特集

● 名取市文化会館×名取昔ばなし語りの会
「名取市文化会館で語るふるさとの昔ばなし」座談会

● 演劇「ファミリーツリー」公演を終えて…

● 共同制作オペラ「ラ・ボエーム」

● 令和6年度 公演スケジュール

名取市文化会館で語る 座談会 ふるさとの昔ばなし

令和3(2021)年度に始まった「名取市文化会館で語るふるさとの昔ばなし」事業。これまで年4回、計12回の公演を実施しました。名取昔ばなし語りの会の皆さんにインタビューを実施し、この3年を振り返りました。
聞き手：石山翔子(名取市文化会館)

石山 早速ですがこの3年間の「ふるさとの昔ばなし」を振り返ってみていかがですか？
岩淵 最初は人が集まるのか不安だったけど、振り返ってみたらいつも100人、150人とたくさんの方に集まっていたので、本当にありがたいことです。
村上 リピーターが多いよね。
石山 「また来たい」としてもらえるとすることは事業としてとても大事なことです。最初は初めてのことが多くて皆大変でしたね。
村上 初年度は打合せを何回も行って本番に臨んだけど、だんだん回数も減って段取りよく進められました。3年目は、リハーサル1回だけで済むようになるくらい慣れたよね。
阿部 何度やっても自分の出番のときはドキドキしたけど、最初のころは本当に緊張したよね。お風呂の中でも布団の中でも寝ても覚めても何回も練習したな〜。
佐々木 文化会館はそもそもなんでこの企画をやろうと思ったの？
石山 文化会館は特別な時にだけ来てもらう場所ではなく、いつでも気軽に来てもらえる身近な場所でありたいと思って、地域に根差した活動をされている皆さんと一緒に事業展開しようとお声がけしたのが始まりです。
宗像 それなら気軽に会館に足を運んで楽しんでもらえたかもしれないね。
村上 コロナ禍で活動が縮小していた時期だったので、この3年間こうして文化会館で発表の場を設けてもらうことができて良かったです。
石山 皆さん、自分の語りの前に、沢山研究していただきましたよね。
岩淵 みんなでスライド用の写真を撮りに行ったりもしたね。
佐々木 みんなは一緒に調べに行っていたの？俺は一人で図書館に行って調べて大変だったよ(笑)
大友 でもそれがあったから、あの時の語りは聞いていてもとても心に響いたよ。時間をかけて研究したことが、語りに現れるんだろうね。それが何より大事なことだと思う。
阿部 私も自分で作った作品をスライドで映してもらったり、わらべ歌で披露したり、良い経験ができました。季節の歌とか手遊びとかやったのも毎回楽しかったし、交流会で教えてもらった手遊びを取り入れたこともあったよね。
石山 2年目は、日本民話の会、栃木のおはなしコロリン、常陸民話の会の皆さんと交流会を行いました。
阿部 わざわざ名取まで来てくれて、とてもありがたかったです。
村上 今度私たちが行きたいんだけどね〜誰か音頭とってくれないかな。
岩淵 他の地域で頑張っている皆さんの話を聞いて刺激になったし、他地域の皆さんも、交流会で得たことが各々の活動に活かされているといいなあと思います。交流会で連絡先を交換した民話の会の方からお手紙をもらったりして、今でも繋がっているんですよ。
宗像 刺激し合うってやっぱり大事だよな。
佐々木 交流してわかったけど、似たような昔ばなしって全国どこにもあるんだよね。



石山 でもきつと、それを土地の言葉で話すからいいんですよね、温かみがある。
佐々木 宗像さんの福島の方言やイントネーションもとても味があってよかったよ。
宗像 その土地の方言で話すことで味が出て物語に深みが出るよね。それが昔ばなしの良いところ。
石山 3年続けたことで、ゲストの大平さんも「皆さん回を増すごとに上達していて本当に素晴らしいです」とおっしゃっていました。
大友 大勢の前で話すことに場慣れたものもあるけど、それだけじゃなくて、自分で話す昔ばなしを調べて勉強することで伝える力がついたと思うし、自分の自信にもつながったと思う。あとは文化会館の皆さんにサポートしてもらってここまでものができた。自分たちだけでやろうと思ってもなかなかできないよ。
村上 そうだね。マイクとか照明もやってもらったし、スライドも毎回作ってもらってとても良かった。
岩淵 大平さんからたくさん学ぶことができました。本当に良いご縁を繋いでもらって良かったです。
石山 今後の活動について、いかがでしょうか。
村上 令和4年度のなとりアートキャラバンで、合唱と昔ばなしのコラボレーションをやったのが印象に残っているんだよね。今後もそういう企画ができれば良いなと考えています。
佐々木 昔ばなしだけだと飽きちゃうかもしれないから、ダンスと昔ばなしとかね。
岩淵 そうですね、また機会がありましたらそういった企画、是非よろしくをお願いします。
石山 3年も一緒に過ごさせていただいたご縁を大事に、形を変えてもまた是非一緒にできれば嬉しいです。ありがとうございます。

名取昔ばなし語りの会
平成15年8月に発足。
名取市文化会館、名取市図書館、国の重要文化財旧中沢家住宅、市内の児童センターや小学校、FMなとり等への出演と市内を中心に語りを行うほか、昔話を勉強し物語を語る活動を行っている。



ものがたり
季節は、東北の遅い春。日和山の桜は満開。花見にやってきたのは高橋家の面々。10代から80代まで四世代が集まって、久しぶりの再会に話はずみずみ。
舞い散る桜、かもめの声、潮風の香り…楽しい時はやがて過ぎ、いつしか日暮れが近づいて、宴はそろそろお開きに…。なつかしい故郷(関上)の、思い出の風景を描いた作品です。

名取市文化会館公式YouTubeにて公演の様子を配信しています。ぜひご覧ください！

演劇「ファミリーツリー」公演を終えて…

令和6年3月1日(金)〜3日(日)、演劇「ファミリーツリー」を小ホールにて開催しました。3公演すべて完売御礼で、多くのお客様にご来場いただきました。
時折、桜の花びら舞い散る会場は、穏やかな波の音とかもめの鳴き声で物語の世界へ。家族や親戚、ご近所さんがわらわらと集まって始まるお花見での会話は、親しみある地元の言葉で繰り広げられます。小言や喧嘩が混じるも家族愛を感じるやり取りに、お客様も「そうそう、近くにこういう人いるなあ〜」、「自分の親からも同じようなこと言われたなあ〜」とそれぞれの家族や知り合いに重ね合わせながらご覧になっていたのではないのでしょうか。
原作者の相澤氏が抱いた、家族や関上への思いが詰まった演劇「ファミリーツリー」。これからも大切に受け継いでいきたいと、改めて感じた公演でした。
会館公式youtubeにて全編映像配信しておりますので、是非ご覧ください。

あの日は遠くなってしまったのか、まだ近くにあるのか。
震災を知らない若い世代が多くなると聞きました。どうやったら若者が興味を持つ形で伝えられるのか。あの日のこと、その後この地域の人がどんな時間を過ごしてきたかを。しかし、忘れない人もいます。思い出したくない人もいます。そこに演劇として寄り添うには…。この相反する思いを感じた公演でした。観た人、観たくなかった人の素直な言葉を聞きたくまりました。これからのために。
「ファミリーツリー」作・演出 相澤一成

文化会館から主催事業として「ファミリーツリー」を上演したいと相談があったときは、この作品が故郷で認めてもらえたような気がして、とても嬉しく光栄に感じました。とは言え、初演から7年が経ち町の様子も社会も大きく変わってしまった今、この作品はどう受けとめられるのだろう。「いつまで震災のことやってるんだ」という声もあるのでは…上演に向けての日々はさまざまな不安との闘いでもありましたが、上演を終えて、お客様の熱い反応に救われた思いがしました。歴史の年表に残ることのない、町の人びとのつましい暮らし、会話、しぐさ、気配、匂い、そして、思い。これからもこの舞台が、大切な誰かを思い出すきっかけになればと願います。
ファミリーツリー製作委員会 代表 伊藤み弥

お客様の声

心の中に温かいものが残った。亡くなった方が風の向こう側にいても見守ってくれているということがとても優しく感じた。

関上の懐かしい情景が思い出されました。言葉も久しぶりに聞いて本当に懐かしくなりました。

一緒に日和山に居たような気持ちになりました。ずっと続けていってほしいお芝居です。

震災の話ではありますが温かいストーリーでした。文化会館で観られることに意義がありますね。

昔の関上を思い出しました。とても良い舞台がありました。

当たり前の日常の大切さ、家族の大切さを改めて感じました。忘れてはいけないことを再確認できました。



<p>Art for Kids @なとり わくわくパビリオン 5月4日(土・祝)〜5日(日・祝)全席 【入場無料】 10:00〜15:00 ※直接会場へお越しください。</p>	<p>Art for Kids@なとり わくわく楽しい音楽会 7月15日(月・祝) 中ホール 14:00開演</p>	<p>宝くじ文化公演 熱帯JAZZ楽団コンサート 8月18日(日) 大ホール 17:30開演</p>	<p>オペラレクチャーコンサート 8月23日(金) 中ホール 18:00開演</p>	<p>全国共同オペラ ブッチーニ歌劇『ラ・ボエーム』 9月29日(日) 大ホール 14:00開演</p>	<p>東混ソリスト 東混混声合唱団メンバー8名による〜 11月16日(土) 中ホール 15:00開演</p>	<p>春風亭一之輔独演会 令和7年1月26日(日) 大ホール 14:00開演</p>	<p>なとりアートキャラバン ~芸術で地域巡り~ 令和7年2月予定 市内公民館等施設</p>	<p>伝統芸能で魅せる 続・名取寄席 令和7年3月20日(木・祝) 小ホール 14:00開演</p>
---	---	---	---	---	---	---	---	---

※情報は発行日時点のもので、都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。詳しくは、公演チラシや会館の公式サイトをご覧ください。